

**第6章**  
**プランの推進**



## 第6章 プランの推進

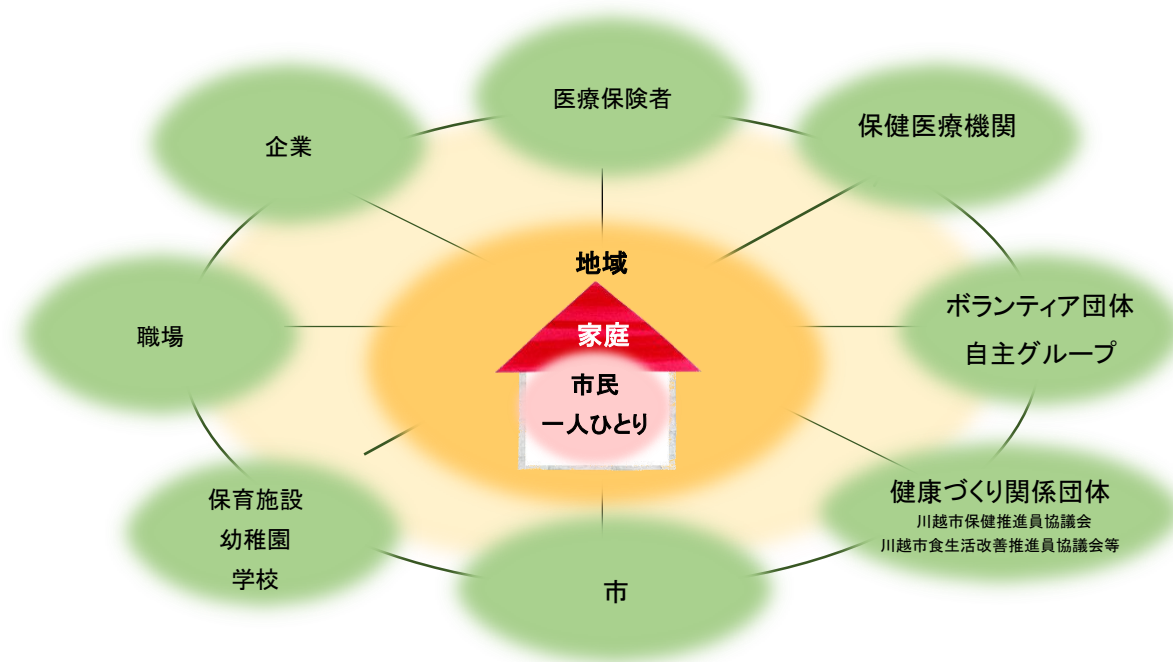
### 1. 連携による推進体制

本プランを推進していくためには、本市の特色を活かしつつ、主体となる市民、支援する市と関係機関等がそれぞれの役割を果たしながら、相互に連携し、協働していくことが必要です。

市民一人ひとりが健康への関心を高めて、主体的に取り組む健康づくりを積極的に支援する体制を整備します。

また、市民一人ひとりが食育に関心を持ち、食育を実践できるよう、様々な取組みを展開していきます。

市民・関係機関・行政等の連携による推進体制



## 2. 各主体の役割

### (1) 市民の役割

健康づくりは、市民一人ひとりが自分の健康に関心を持ち、健康的な生活習慣を身に付けていく必要があります。さらに、個人の健康づくり活動は、家庭、学校、地域等に影響を与えることから、積極的に地域の活動に参加し、健康づくりの輪を広げていく必要があります。

### (2) 家庭の役割

家庭は生活する上で最も基礎的な単位です。家庭生活を通じて主な生活習慣を身に付けるとともに、安らぎの場でもあるため、家族ぐるみで取り組む必要があります。

### (3) 地域の役割

地域は一人ひとりの生活の場であり、社会環境は個人の健康に影響を与えます。行政と連携し地域の健康課題等を明らかにし、より健康的な地域づくりを進める必要があります。

### (4) 健康づくり関係団体・自主グループ・ボランティアの役割

市民が自主的かつ継続的に健康づくりの取り組みを行うためには、身近なところに学びの場や実践の場、仲間との交流の場が必要です。健康づくり関係団体や自主グループ・ボランティアには、地域と行政をつなぐ役割を担うとともに、地域に密着した活動を行うことが期待されます。

### (5) 保育施設・幼稚園・学校の役割

保育施設・幼稚園・学校は、乳幼児期から青年期にかけて多くの時間を過ごす場であり、生涯にわたる望ましい生活習慣を身に付ける上で重要な役割を担っています。規則正しい健康的な生活リズムを育成し、健康づくりの資質や能力を培うきっかけづくりに努めていく必要があります。

### (6) 職場の役割

職場は青年期から壮年期にかけて多くの時間を過ごす場であり、個人が活動を行う上で、職場環境は大きな影響を与えます。健康診査の実施や健康情報の提供、こころの健康づくり、完全分煙・禁煙など、健康づくりを支援する体制整備が期待されます。

### (7) 企業の役割

市と民間企業が、それぞれの特性や資源を生かし合って協働することで、より効果的な活動の推進が期待されます。

### (8) 医療保険者の役割

健康保険組合や共済組合などの保険者には、被保険者やその扶養者に対する特定健診・特定保健指導の実施が義務付けられています。健康の保持・増進を目指した保健事業の充実・強化を図るとともに、行政と連携したより効果的な活動の推進が期待されます。

### (9) 保健医療機関・団体の役割

医師会、歯科医師会、薬剤師会などの保健医療関係団体は、専門的な知識や技術を生かし、市民の健康づくりを支援します。

### (10) 市の役割

本市は、「健康かわごえ推進プラン」を総合的に推進していくために、関係部署及び関係機関・団体との連携を図り、効果的な施策展開と進捗管理を行います。

全てのライフステージに対し、健康に関する正しい知識の普及・健康づくりの場や機会の提供を行います。また、保健推進員や食生活改善推進員などの関係団体の育成や活動支援を行います。

市民センターを中心とし、家庭や地域、社会の絆を深め、市民相互の支え合い・助け合いによる健康づくりの推進を図ります。

地区担当保健師は地域の特性をとらえ、市民と協働した健康づくりの活動を行っていきます。

#### 【川越市健康まつり】

「健康かわごえ推進プラン」に基づき、市民一人ひとりが健康に対する関心を高め、健康づくりに取り組むための情報提供を行うとともに、行政、保健医療関係団体、健康に関する団体等がそれぞれの特性を活かした連携のもと、健康づくりを推進することを目的に開催します。

写真

### 3. 推進組織

本プランの推進組織として、「川越市健康づくり推進協議会」及び「川越市健康づくり推進庁内会議」がそれぞれの役割のもとに連携して、本プランの推進を図ります。

#### 川越市健康づくり推進協議会

プランの進捗状況や課題等を検討し、健康づくり・食育施策に反映させます。

<構成団体>

学識経験者、川越市校長会、川越市医師会、川越市歯科医師会、川越市薬剤師会、埼玉県歯科衛生士会川越支部、川越市体育協会、川越市社会福祉協議会、川越市老人クラブ連合会、川越市自治会連合会、川越市保健推進員協議会、川越商工会議所、地域活動栄養士 PFC の会、川越地区私立幼稚園協会、川越市 PTA 連合会、健康づくりボランティアグループやまぶき21

#### 川越市健康づくり推進庁内会議

各部署が連携して健康づくり・食育推進に取り組むため、それぞれの取り組みの実施状況、課題、成果について定期的に情報交換・情報共有を行います。

<構成部署>

政策企画課、職員課、市民活動支援課、スポーツ振興課、福祉推進課、障害者福祉課、高齢者いきがい課、こども政策課、こども育成課、保育課、保健医療推進課、国民健康保険課、医療助成課、保健総務課、保健予防課、食品・環境衛生課、健康づくり支援課、成人健診課、環境対策課、農政課、公園整備課、地域教育支援課、中央公民館、教育指導課、学校給食課

### 4. 進捗の管理

本プランの進捗状況の管理については、PDCAサイクル（Plan＝計画 Do＝実行 Check＝評価 Action＝改善）に基づいて、計画の実施状況を点検・評価し、必要に応じて見直しを行います。

## 地域に根差した健康づくり活動についての意見交換会を開催しました

「川越市民の健康づくりに向けて知恵を集めよう」というテーマについて、日ごろから地域で健康づくり活動を行っている保健推進員や食生活改善推進員など 136 名が集まり、意見交換を行いました。多くの人と語り合いながら考えをまとめていく「ワールド・カフェ方式」で実施したところ、川越らしい地域に根差した健康づくり活動を進めていくための様々な意見や提案が出されました。



カフェ方式で、くつろぎながら話し合うと、いろいろなアイデアがひらめきました。



### 主な意見

現在行っている活動として「食事」や「運動」の取組みについて紹介があり、今後は「身近な場所で健康づくりが学べる食事会を開催したい」「ラジオ体操は、だれでも知っている体操で、各地域で取組まれているため、もっと広めていきたい」という意見がありました。

また、意見交換会に参加した感想として、「健康づくりの重要性を再認識した」「新たな気づきがあった」との感想も聞かれました。

意見交換会の最後には「地域に根差した健康づくり活動の第一歩は、地域間のコミュニケーションを活発にすることであり、健康づくりの輪が広がることにつながる」とまとめられました。

## 地域に根差した健康づくり活動について、保健師によるグループワークを開催しました

保健師が集まり、地域での健康づくり活動を進めていく方法について、意見交換をしました。

「日頃、関わることの少ない働き世代の男性に健康づくり活動に参加してもらうためには」というテーマで検討しました。

健康づくり活動への参加を促すためには「子どもと一緒に参加する機会を増やす」「家で簡単にできる運動や食事の工夫などの紹介」「週末の参加しやすい時間帯にプログラムを実施する」など、工夫を凝らすことが必要という意見が出ました。

### プログラム提案

- 昔やっていたスポーツ（スポーツ人口の多い野球やサッカー等）の講座を行い、若かりし頃を思い出してもらう。
- ゲーム要素が入って楽しいスポーツ大会の開催。終了後は、打ち上げの席で、ヘルシーおつまみやアルコールの飲み方等を紹介する。
- 「ゴミ0（ゼロ）の日」は活動の前にラジオ体操をする。
- 週末の参加しやすい時間帯に、ウォーキング、川越の名所のスタンプラリー等、家族で参加できるプログラムを実施する。
- グループ対抗のおつまみづくり大会（塩分 3g、野菜 130g など条件を設定）を開催する。
- 「小江戸マラソン」に向けたマラソン講習会を開催する。
- 休日に行きそうな場所（ホームセンター、スーパー等）健康に関するイベントを開催する。

### 活動を行うに当たって

地域での健康づくり活動を効果的に行うためには、自治会やPTA、学校、保育園、幼稚園、関連団体、企業、保健推進員、食生活改善推進員、ボランティアグループなどの協力を得ることが必要であり、連携を深めることの重要性を再認識しました。

「日頃から地域に出向いて市民と触合う活動を行いたい」と保健師間で共有しました。